

# だいせん 市議会だより

DAISEN CITY COUNCIL NEWS



神岡幼稚園と保育園が一体となった「すくすくだけっこ園」の3～5歳児が自分達で植えて育てたさつまいもを収穫しました。収穫されたさつまいもは約300kgになり、園児の給食等に使用される予定です。(10月14日)



## 主な内容

## CONTENTS

- |                        |     |
|------------------------|-----|
| ■議長に児玉裕一氏、副議長に大野忠夫氏が就任 | 2   |
| ■常任委員会・議会運営委員会等の議会構成   | 3   |
| ■平成21年第3回(9月)定例会の概要    | 4～5 |
| ■4人の議員が一般質問            | 6～7 |
| ■委員会審査のあらまし            | 8   |
| ■第4回臨時会の概要・先進地に学ぶ      | 9   |
| ■提出された議案と審議結果・陳情・意見書   | 10  |

平成21年第5回臨時会

# 議長に児玉裕一氏・副議長に大野忠夫氏

## 新議員による初議会開会

9月20日に投票票され、当選した30名の新議員による初議会が10月6日に招集されました。  
 本会議では議長と副議長を選挙で選出し、議席の指定や各常任委員会と議会運営委員会委員の選任及び広域市町村圏組合など一部事務組合への代表議員が決定いたしました。  
 議長選挙は最年長者の藤井春雄臨時議長のもとに行われ、単記無記名投票の結果、児玉裕一議員17票、千葉健議員12票、佐藤文子議員1票となり、児玉裕一議員が議長に選出されました。副議長選挙は大野忠夫議員が議長より指名推選され、全会一致で選出されました。  
 また、追加提案された議会選出の監査委員として、渡邊秀俊議員が選任されました。



児玉裕一  
議長



大野忠夫  
副議長

### 就任のすそ野

市民の皆様には、日ごろより市議会に対しご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

去る10月6日の市議会臨時会におきまして、議長に就任し誠に身に余る光栄に存じますとともに、その重責を痛感しているところであります。

市議会も9月の任期満了に伴う市議会議員一般選挙での市民の負託を重く受け止め、市民生活の充実を第一に、誠心誠意円滑なる議会運営に努めるとともに、地方分権の推進により、地方議会の役割が一層重要となる中、議会の活性化に向けた議会改革を進め、市民の皆様の期待に応えられるよう、全力を尽くす所存であります。

ついでに。

また、今日の社会情勢は企業業績の悪化に伴う地域経済の低迷と雇用問題、また国の政権交代による大幅な施策の見直しなど、地方自治を取り巻く情勢は、混沌とした中にあります。

こうした中であって、市政は厳しい財政状況ではありますが、安全で安心して暮らせるまちづくりに向け、農林商工業の振興と地域経済の活性化、少子・高齢化社会への対応、地域医療の強化など、市民の皆様と一体となりその施策の実施に努めてまいります。

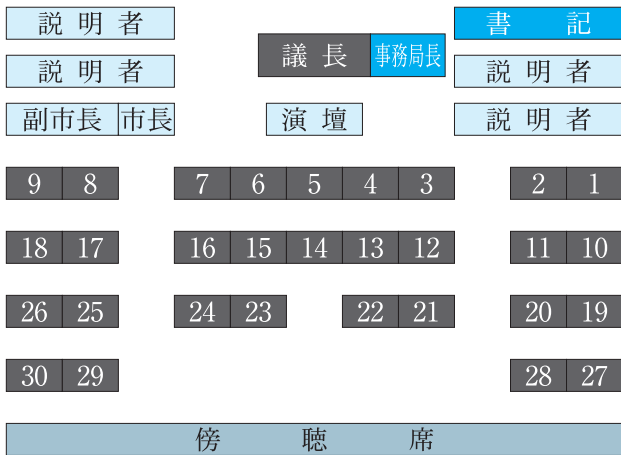
どうか今後とも大仙市議会に対しまして、一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。就任のあいさついたします。

議席	氏名	所属委員会	所属党派(役職名)
25	橋村 誠	企画産業	だいせんの会幹事長
26	佐藤 孝次	企画産業	だいせんの会副会長
27	千葉 健	建設水道	大地の会副会長
28	鎌田 正	建設水道	大地の会会長
29	竹原 弘治	総務民生	だいせんの会会長
30	児玉 裕一	総務民生	だいせんの会顧問

議席	氏名	所属委員会	所属党派(役職名)
1	大野 忠夫	企画産業	大地の会
2	佐藤 文子	総務民生	日本共産党団長
3	後藤 健	総務民生	まっすぐ大仙代表
4	佐藤 隆盛	建設水道	市民クラブ幹事長
5	藤井 春雄	企画産業	市民クラブ会長
6	杉沢 千恵子	教育福祉	公明党代表
7	茂木 隆	教育福祉	新政会監事
8	小山 緑郎	建設水道	新政会会計
9	小松 栄治	教育福祉	新政会会長代理
10	富岡 喜芳	教育福祉	大地の会
11	佐藤 清吉	総務民生	大地の会
12	石塚 柏	企画産業	大地の会
13	金谷 道男	教育福祉	大地の会副幹事長
14	武田 隆	総務民生	大地の会副幹事長
15	渡邊 秀俊	企画産業	新政会幹事長
16	高橋 敏英	建設水道	だいせんの会
17	菊地 幸悦	教育福祉	だいせんの会会計
18	佐藤 芳雄	建設水道	だいせんの会
19	大山 利吉	教育福祉	大地の会幹事長
20	北村 稔	建設水道	大地の会
21	高橋 幸晴	総務民生	大地の会
22	本間 輝男	企画産業	大地の会
23	橋本 五郎	企画産業	新政会会長
24	藤田 君雄	総務民生	新政会顧問

### 議席の決定及び党派構成について

### 〈議場内配置図〉



### 企画産業常任委員会

●企画部、農林商工部及び農業委員会の所管に属する事項の審査



### 総務民生常任委員会

●総務部、市民生活部、会計課、監査委員、選挙管理委員会及び固定資産評価委員会の所管に属する事項の審査



### 建設水道常任委員会

●建設部及び水道局の所管に属する事項の審査



### 教育福祉常任委員会

●健康福祉部、教育委員会及び市立大曲病院の所管に属する事項の審査



### 議会運営委員会

●議会運営に関する事項（会期決定及び延長、議事日程、議事進行、その他本会議運営について）



### その他の議会構成

- 〔大曲仙北広域市町村圏組合議会議員〕  
大野忠夫・佐藤文子・茂木隆・富岡喜芳・大山利吉・橋本五郎・佐藤孝次・児玉裕一
- 〔大仙美郷環境事業組合議会議員〕  
藤井春雄・小松栄治・金谷道男・高橋敏英・藤田君雄・千葉健・鎌田正・児玉裕一
- 〔大仙美郷介護福祉組合議会議員〕  
佐藤隆盛・小山緑郎・武田隆・高橋幸晴・児玉裕一
- 〔大仙市土地開発公社及び(財)大仙市開発公社役員〕  
理事Ⅱ 藤井春雄・小山緑郎・北村稔・竹原弘治  
監事Ⅱ 佐藤芳雄・本間輝男
- 〔民生委員推薦会委員〕  
茂木隆・金谷道男
- 〔青少年問題協議会委員〕  
後藤健
- 〔都市計画審議会委員〕  
石塚柏・佐藤芳雄・橋村誠
- 〔秋田県後期高齢者医療広域連合議会議員〕  
児玉裕一

平成21年第3回(9月)定例会

# 33件の議案、2件の陳情、1件の意見書を議決

## ■市長提出議案

第3回(9月)定例会は8月25日に招集され、9月10日までの17日間の会期で行われました。提出議案は初日に条例案12件、単行案8件、補正予算案7件、決算の認定2件が上程され、本会議3日目及び4日目に単行案1件と補正予算案2件が追加提案され、いずれも原案可決、同意及び認定と決しました。主な概要は次のとおりです。

## 条例案

▽大仙市簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について

基本料金(一般用の場合)	
メーターの口径	料金(1月につき)
13mm	800円
20mm	1,200円
25mm	3,300円
30mm	5,700円
40mm	13,000円
50mm	24,000円

## 1件の意見書を議決

簡易水道料金については、合併前の町村の料金体系を引き継いでいる事による地域間格差を解消するとともに、今後の健全な事業運営を図るため、全市統一の料金に改定するもの。また、加入促進を図るため、加入金制度を廃止するもの。施行は平成22年7月1日ですが、料金の激変緩和を図るため段階的に改正し、神岡・西仙北・協和・南外地域は3段階で平成28年4月から、中仙・仙北地域は4段階で平成31年4月から改正料金表の適用となります。

従量料金(一般用の場合)		
種別	区分	料金(1月につき)
口径20mm以下	1㎡から10㎡まで	1㎡につき140円
	11㎡から20㎡まで	1㎡につき210円
	21㎡から50㎡まで	1㎡につき240円
	51㎡から100㎡まで	1㎡につき270円
	101㎡以上	1㎡につき300円
口径25mm以上	1㎡から50㎡まで	1㎡につき240円
	51㎡から100㎡まで	1㎡につき270円
	101㎡以上	1㎡につき300円

## 反対討論 佐藤文字議員

【反対理由】平均月々の使用水量から料金を試算すると水道料金の1・3〜1・5倍にもなる料金体系である。同じ分量の水を使っても大きな料金格差が生ずるのでは、これまでサービスタと料金の統一化を進めてきた市の方針にも相反するものであり、むしろこの点で市民に不公平感を与えるものである。改めて従量料金は上水道・簡易水道同一とするよう再検討を求め反対討論とする。

▽大仙市水道給水条例の一部を改正する条例の制定について

上水道の水道料金について、主に一定の基本水量に対して基本料金を設定している現行の料金体系では、一世帯当たりの世帯人員の減少や節水機器の普及などにより、少量使用者の過負担を招くなどの傾向にあることから、この基本水量を廃止し、基本料金を引き下げるとともに、1立米ごとの従量料金とするなど、より使用実績に見合う料金体系に変更するもの。

▽大仙市民体育館条例の一部を改正する条例の制定について

を廃止し、仙北ふれあい文化センター隣接地に建設中の新体育館の供用を平成21年12月1日から開始するため、その名称を大仙市ふれあい体育館とするともに、位置及び使用料を規定するほか、所要の規定の整備を行うもの。

### 【新体育館の概要】

- 構造規模▼鉄筋コンクリート造
- 2階建て
- 建築面積▼2,279.20㎡
- 延床面積▼2,949.59㎡
- 1階▼アリーナ
- 2階▼男女更衣室、トレーニングルーム、ランニングコース

▽大仙市下水道条例及び大仙市下水道終末処理場施設設置条例の一部を改正する条例の制定について

南外地域で整備中の公共下水道について、下水道使用料並びに下水道終末処理場施設の名称、位置及び処理区域を条例規定するもので、施設の供用を平成22



公共下水道県代行工事で実施されている南外浄化センター

年3月31日から開始するため、同日から施行するもの。なお、下水道使用料については、現在各下水道事業における負担の平準化を段階的に行っており、南外地域については平準化後の金額としているもの。施行期日は平成22年3月31日。

▽大仙市南外地域公共下水道事業受益者分担に関する条例の制定について

整備中の南外地域の公共下水道について、事業に要する費用の一部に充てるため、公共汚水ます1基につき15万円の受益者分担金を徴収することとするもの。施行期日は平成22年3月31日。

## 補正予算

▽平成21年度大仙市一般会計補正予算(第5号)

【主な内容】  
 歳入▽普通交付税、特別交付税の地方交付税、子育て応援特別手当給付事業費などの国庫支出金、県ふるさと雇用再生臨時対策基金事業費などの県支出金、前年度繰越金の増額などです。  
 歳出▽市道の除雪対策費、国の経済危機対策に伴う子育て応援特別手当給付事業費、大仙市ふれあい体育館連絡通路建設工事費、道路台帳作成経費などの増額補正。

## 工事請負契約

▽工事請負契約の締結について

大曲駅東地区に建設予定の地域交流センターに係る建築工事請負契約の締結について、条件付き一般競争入札を執行した結果、さとう・興業特定建設工事共同企業体（代表者 株式会社さとう 代表取締役 佐藤富彦）が落札したもので、契約金額2億4,885万円で仮契約を締結したものです。

【工事の概要】

契約の名称▼高次都市施設地域交流センター新築（建築） 工事位置▼大仙市幸町地内 建物▼鉄筋コンクリート造平屋建て、一部鉄骨造 延床面積▼1,231.4㎡ 室名等▼情報展示室、プレイルーム、会議・研修室、調理実習



高次都市施設地域交流センターの完成予想図

室、教育文化室、体育室等 工期▼平成21年9月14日から平成22年10月29日まで

## 決算

▽平成20年度市立大曲病院事業会計決算の認定について

収益的収入及び支出における事業収益で8億8,497万7,910円、事業費用で8億7,497万7,910円となっており、差引額は1千万円の黒字。一方、資本的収入及び支出における収入は無く、支出では8,198万617円となっており、その差引額は8,198万617円のマイナスとなっており、この不足額は過年度分損益勘定留保資金により補てんしているもの。

▽平成20年度大仙市上水道事業会計決算の認定について

収益的収入及び支出における事業収益は8億3,965万4,466円、事業費用で6億9,552万7,495円となっており、差引額は1億4,412万6,971円の黒字。一方、資本的収入及び支出の収入では6,575万5,200円、支出で3億2,999万1,453円となっており差引額は2億6,423万6,253円のマイナスとなっており、この不足

## 追加議案

▽市道の路線の認定及び廃止について

国道13号神宮寺バイパスの一部1.7kmが11月から供用開始される見込みとなったことに伴い、バイパスの取付道路など23路線を認定するとともに13路線を廃止するもの。これにより市道の路線数は6,562路線、実延長は320万250.28mとなります。

▽平成21年度大仙市一般会計補正予算（第6号）

【主な内容】

歳入歳出予算の総額に806万7千円を追加するもの。  
歳入▽普通交付税の増額補正。  
歳出▽仙北組合総合病院の改築について、秋田県策定の地域医療再生計画に基づき、国の地域医療再生臨時交付金を活用して改築を促進する地域医療中核施設建設等推進経費の増額補正。

▽平成21年度大仙市一般会計補正予算（第7号）

【主な内容】

歳入歳出予算の総額に822万円を追加するもの。  
歳入▽普通交付税の増額補正。  
歳出▽かみおか温泉「嶽の湯」源泉井戸管及び揚湯管の内部洗浄において、井戸管内部の付着物が原因による水中ポンプの引き上げが不能となり、これを復旧させる工事費の増額補正。

■議員提出議案

▽大仙市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

総務常任委員会及び教育民生常任委員会が所管する部を変更するもので、総務常任委員会を総務民生常任委員会に、また、教育民生委員会を教育福祉常任委員会とし、「市民生活部」の所管を現行の教育民生常任委員会から総務民生委員会に移行す



かみおか温泉嶽の湯で行われている復旧工事

## 陳情

▽陳情第65号 消費税の引き上げに反対することについて

陳情者▼秋田県労働組合総連合議長 佐々木章

【要旨】近年庶民への増税が繰り返され暮らしが苦しくなっている。さらに消費税が増税されれば国民の消費が落ち込み、地域経済はより悪化し、貧困と格差をいっそうひどくするので、消費税を引き上げることに対する意見書の提出を求めます。

▽陳情第98号 保険で良い歯科医療の実現を求めることについて

陳情者▼秋田県保険医協会会長 三浦利治他1名

【要旨】政府の医療費・診療報酬抑制策によって、歯科医療の効用を生かすきするための歯周治療や義歯治療が保険では十分にできていないことから、保険の利く範囲の拡大と自己負担の軽減を図るため、関係機関に意見書の提出を求めます。

## 一 般 質 問

## 水害対策について



だいせんの会  
佐藤 芳雄 議員

◆朝日町横断地下道は浸水により通行できなくなるがあるが、大雨時においても浸水を無くして通行止めとならないような方法はないのか。

【栗林市長】現在、横断地下道緊急メールシステムにより担当職員の携帯電話に警報の連絡が入り、直ちに現地に直行して通行止め看板やバリケードを設置するとともに通行車両の誘導を行っている。過去に発生した車の水没事故等のような事例は防止出来るものと考えております。また、集中豪雨の際は、可搬式のポンプで排水作業を行い、早期に通行止めを解除する体制を整えております。

◆大曲金谷地区浮嶋理容店前交差点周辺では、両側が高くなっているという地形的な問題から、大雨時には側溝から水があふれ、家屋に浸水するなどの被害が度々発生しているが、浸水被害対策はないのか。

【栗林市長】被害周辺地域一帯の雨水排水状況、並びに今後の浸水被害対策として、排水区域面積・縦横勾配の計画及び側溝断面等の調査を実施しておりますが、調査内容に基づき抜本的な



洪水時には通行止めにもなる  
朝日町横断地下道

排水対策を行った場合には排水ルートの変更等により多額の事業費が想定されますので、工法等について精査して参ります。今後の対策としましては、常設の排水ポンプの配置を考えて参りますが、当面は可搬式排水ポンプで対応して参ります。

◆家屋への浸水等、水害の発生が見込まれる場合、南外地域では消防団員がその場所に待機し水害に備えている。大曲地域でも団員を待機させて、市民の不安を解消することはできないのか。

【栗林市長】最近、局地的な集中豪雨などにより側溝の排水能力を超える雨量のため、市街地の道路冠水や低所地域にある家屋や車庫等への浸水などが発生いたしております。また、開発などにより地形が大きく変化して、新たに浸水の恐れがある箇所なども見られることから、今後はさらに早めのパトロールを徹底するとともに、その状況に応じた適切かつ迅速な対策を実践して参りたいと考えております。

## 一 般 質 問

## 企業誘致について



大地の会  
金谷 道男 議員

◆企業誘致対策として、行政による地元企業の「ものづくり（製品・技術等）」情報の収集、発信が必要と思うが市の取り組みはどうなっているのか。

【栗林市長】個別の企業訪問において、細かな企業の実態の把握に努め、地元企業間の情報交換の場を提供してまいります。また市のホームページを活用した、独自技術や得意分野などのPRも視野に入れながら、各企業と相談してまいります。さらに、秋田県全体の新規開拓に向けた取り組みである東京、名古屋での企業リッチセミナーなどの機会を利用して、広く大仙市の企業の特徴を発信してまいりたいと思っております。

◆他の地域とは違う、市独自の思い切った優遇策が必要と思うが、どのようなのを考えているのか。

【栗林市長】用地について、リース・賃貸借を含めた、進出企業の初期費用をできるだけ抑える支援策を研究するとともに、立地の際の重要なポイントになりうる用水についても検討し、誘致環境の整備に努めてまいります。さらに現在、神岡地域で進められている秋田県新規工業団地整備事業に対しては、市といったしましても最大限の協力をするとともに、県と一体となった取



秋田県の新規工業団地計画の  
最適地として評価された神岡地区

## 地域づくり

◆活力ある地域づくりには、現在の地域協議会のあり方を改善し、もって住民が参加できる組織として協議会を活かし、対等の関係で都市内分権に取り組むべきと思うがどうか。

【栗林市長】現在の地域協議会は、団体代表・学識経験者・公募の区分により各地域協議会ともに定数20人に対し17人から18人の委員数となっております。委員数と委員構成については市民との協働、地域協議会の充実・発展のため、各地域協議会の意見を尊重しながら、適宜検討したいと考えます。都市内分権につきましては、地域協議会が行政のパートナーとして、適切な役割分担を担い、地域の課題を解決していく組織であり続けることができるよう、先進の事例を含め、幅広く研究させていたいただきたいと存じます。

## 一般質問

### 農村地域の 将来展望について



市民クラブ  
佐藤 隆 盛 議員



◆他産業からの一部参入も認めて、農業の法人化、集落営農化などを推し進め環境保全事業というもので補った農政を理想とするのか。小さな農家でもその所得を補償する方向が望ましいと考えるのか。

【栗林市長】県平均を下回っている基盤整備等を推進することにより、一層法人化等の組織化は進むものと考えますし、効率的な経営体の育成に向けて今後とも支援をしてまいりたいと考えます。現在組織に加入していない農家の方々には、組織への加入や設立に向けて、機械の共同利用による生産コストの低減、労働力の提供による労賃収入等のメリットについての説明会などを実施し、参画を促してまいります。様々な事情により、組織の設立や加入ができない農家の方々には、花きや施設園芸など収益性の高い作物に取り組みでいただくなどにより、地域農業の一翼を担っていただけるよう、支援をしてまいります。

◆今までのように、農業の経済性のみでなく集落の再生、農業と共存するいきいきとした住環境をどのように整備するのか。

【栗林市長】昨今の過疎化・少子高齢

化の急速な進行により、地域における基礎的組織である「集落」の機能が失われつつあることから、小規模集落の現状と課題を把握するとともに、コミュニティ機能の再生・活性化につながる支援策の検討等を行う「小規模集落コミュニティ対策事業」を活用するなどにより、集落の維持・再生に向けて対応したいと考えております。

#### 身近な生活道路の整備について

◆市全体の身近な生活道路整備について、どのような計画と考えを持っているのか。

【栗林市長】通常の道路整備につきましては、大仙市総合計画に合わせて計画的に整備を進めているところでありますが、身近な生活道路の整備につきましては、比較的安価に改善出来る要素も多々ありますので、各総合支所ごとに実情に合わせて緊急性、重要性の高い生活道路を年次計画で整備してまいります。

## 一般質問

### 水道料金改定にあたって の提案について



日本共産党  
佐藤 文 子 議員



昨年12月に完成された  
大沢郷地区簡易水道の浄水場

◆低所得者世帯、介護家庭、育児中の家庭などに軽減措置を設けること。軽減分は市の一般財源から補てんできないのか。

【栗林市長】水道事業は電気事業及びガス事業同様、公益事業と位置づけられており、受益者負担の原則のもとで独立採算性により運営されるべきものであります。また、上水道と簡易水道を合わせた市営水道の給水人口は約64%で、残り36%は組合営水道又は自家水道等の利用者で、市営水道を使用していないものです。このようなことから、他の公益事業同様に、一部の使用者の経済状況や生活形態に配慮した料金設定はできないものと考えております。

◆簡易水道の平均使用水量を新料金にあてはめると、2倍前後の値上げとなり、大曲上水道と比べても料金格差が大きい。格差是正を図るべきと考えます。

【栗林市長】収支不足額に対して一般会計から毎年5億円以上を繰り入れてきております。一般会計に大きく頼っている経営体質を健全化するため、改正案の算定にあたりましては、合併前の各町村が投資してきた施設整備費

の償還と今後の維持管理を考慮し、市の簡易水道事業に係る本来必要な所要額として算出したもので、現行に比較しまして増額改定となっているものであります。

#### ヒブワクチンへの助成等について

◆ヒブワクチン接種に助成措置を講ずるよう求める。併せて国に対しヒブワクチンの供給体制の強化と定期接種化を図るよう求めるべきと考えるが。

【栗林市長】国においては、ワクチンの有効性及び安全性を検討する研究班が設置されており、任意接種で扱われた効果及び副作用等を確認している段階のようであり、定期接種化により、ヒブによる感染症を未然に防ぐことで、治療費負担の軽減が図られることや、夜間の急な発熱でも髄膜炎の心配が軽減され、救急外来を受診する必要がなくなることから、小児救急医療に携わる小児科医の負担の回避に繋がることも考えられますので、今後の動向を注視してまいりたいと思っております。

## 総務常任委員会



当委員会に審査付託となった案件は、条例案1件、単行案1件、一般会計補正予算1件、特別会計補正予算1件の計4件で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。「大仙市一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について」は、太田国民健康保険診療所の組織体制見直しによるもの。「字の区域の変更について」は、土地改良法に基づく仙北地域堀板地区経営体育成基盤整備事業の施工に伴い、同地区の字の区域を変更するもの。21年度一般会計補正予算のうち歳入では、地方交付税6億5,048万円、前年度繰越金1億6,366万3千円などで、9億8,880万6千円を増額補正し、歳出では、職員の産休及び育休に伴う臨時職員の賃金等614万5千円、情報システム調達指針を策定する委託料375万円、本庁等の駐車場除排雪経費423万6千円などを増額補正するもの。21年度大仙市淀川財産区特別会計補正予算は、山林保有事業の造林費補助金の交付決定により、歳入歳出にそれぞれ199万2千円を増額補正するもの。なお、継続審査となっていた「消費税の引き上げに反対することについて」は、採決の結果、不採択とすることに決しました。

## 企画産業常任委員会

当委員会に審査付託となった案件は、条例案2件、予算案3件で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。条例案のうち、「大仙市協和温泉供給条例の一部を改正する条例の制定について」は協和温泉の使用加入金の取り扱いに係る条例の文言整理、「大仙市羽後長野合築駅舎交流施設条例の制定について」は市の施設となる羽後長野合築駅舎交流施設の設置管理条例の制定。平成21年度一般会計補正予算(第5号)では、物産中仙働が導入する米製粉機に対して助成する「米粉等消費拡大推進事業費」、耕作放棄地を調査すると同時に離職者の雇用創出を図る「耕作放棄地等利活用事業費」等。また、現在、市では仙北組合総合病院の改築の実現に向け、県が国に提出する「地域医療再生計画」の採択を目指した要望活動を実施しているところですが、これに伴う関係機関との協議・コンサルタント委託に要する経費を補正するものとして補正予算(第6号)「地域医療中核施設建設等推進経費」。補正予算(第7号)では、かみおか温泉嶽の湯において井戸管の付着物除去・ポンプ引き上げを行う「嶽の湯温泉管理費」に対する補正でありました。継続審査となっていた陳情1件はなお審査を要するため、継続審査するものと決しました。



## 教育民生常任委員会



当委員会に審査付託となった案件は、条例案4件、単行案1件、一般会計・特別会計補正予算各1件、20年度市立大曲病院事業会計決算1件で、いずれも原案どおり可決及び認定すべきものと決しました。条例改正の内、「大仙市民体育館条例の一部を改正する条例の制定について」は、仙北地域の仙北市民体育館を廃止し、ふれあい文化センターの隣接地に建設中の新体育館を12月1日から供用開始するために、名称を「大仙市ふれあい体育館」とし、位置や使用料などを規定するもの。その他の条例改正は、協和スキー場、美山荘及び隣接する休養センターの管理及び運営について、指定管理者制度の導入を可能とするための所要の改正やリフト運賃の改正などを行うもの。一般会計補正予算の民生費の内、消防施設維持管理費は、角間川地域の積載ポンプ車格納庫敷地の法面崩壊に伴う復旧経費の補正。高齢者等除雪サービス事業費は、道路除雪により高齢者世帯等の家屋出入口に残された雪塊を排除するための事業に係る経費。子育て応援特別手当給付事務費・同事業費は、国の経済危機対策に伴う子育て応援特別手当の21年度分の給付に係る補正。教育費の内、小・中学生ウィンタースポーツ推進事業費は、小中学生に対する市内スキー場のシーズン券配布に係る補正などでありました。

## 建設水道常任委員会

当委員会に審査付託となった案件は、条例案5件、単行案7件、一般会計・特別会計・上水道事業会計補正予算5件、平成20年度大仙市上水道事業会計決算の認定1件で、いずれも原案どおり可決、同意、認定すべきものと決しました。

単行案の「損害賠償の額を定めることについて」は、道路改良工事の施工に伴い、家屋に損害を与えたことから、これを賠償するため、当該損害賠償の額を定めることについて議会の議決を求めるもので、委員からは今後、同様な問題を起こさないためにもどのような対策を考えているのか、との質疑に当局からは、軟弱地盤と判断される工事にあたってはボーリング調査や家屋の事前調査をしっかりと行い、設計にあたっては複数の技術職員で関係住民の意見を聞きながら現場を踏査するなどの意見交換を交わし、工事の施工時期や工事に使用する機種選定など詳細にわたって打合せを行いたい、との答弁でありました。21年度一般会計補正予算(第5号)は、市道除雪に係る除雪対策費として6億5,385万7千円。大仙市ふれあい体育館(新仙北体育館)と仙北ふれあい文化センターを結ぶ連絡通路の工事費等として、3,115万6千円、道路台帳作成経費として2,477万1千円、市道敷地等の未登記解消に係る経費として450万円の増額補正等でありました。





# 緊急雇用創出臨時対策基金事業や 地域福祉推進事業費などの補助事業を補正

## 第4回臨時会

7月29日に第4回臨時会が開催され、議案1件を原案どおり可決と決しました。上程された平成21年度大仙市一般会計補正予算（第4号）は、緊急雇用創出臨時対策基金事業費や地域福祉推進事業費など、国・県の補助事業費等に係る補正を行うもの。主な補正内容では国庫補助採択に基づく地域福祉推進に係る経費として1千万円の補正。西仙北地域の医療機関で新たに病児・病後児保育の施設を設置する経費として545万7千円の補正。女性特有のがんの検診受診率が低いことから、特定の年齢に達した女性に対して子宮がん及び乳がんに関する検診手帳及び無料クーポン券を配付して受診率の向上を図る保健事業費として579万1千円の補正。労働費では経済情勢の悪化により離職等を余儀なくされた失業者を対象に、県の緊急雇用創出臨時対策基金を活用して実施するもので、現場作業員として29名、業務補助員として13名、合計42名を雇用する経費として2,507万3千円の補正。教育費では児童生徒の個性や独創性を育む教育を行うチェンジあきた・教育プロジェクト事業費として、今般、大曲小学校が県の補助事業の採択を受けたことから、その経費として500万円の補正などであり、歳入歳出予算の総額に、それぞれ5,868万8千円を追加するものでした。

議案は各常任委員会に審査付託され、慎重審査されたと、本会議で表決されました。



## 先進地に学ぶ！ 議会運営委員会視察研修レポート

7月13日から14日にかけて、埼玉県川越市で議会運営、議会報及びエコチャレンジファミリ―認定事業について視察研修しました。

川越市における議会運営では、一般質問の通告は大項目を口頭で通告していること、一般質問の質問時間については時間制限を設けていないこと、定例会最終日の前日には委員会での審査の会議録を議員全員に配付して審査の状況等を確認していること、陳情の取扱いは正副議長までの回覧のみで議会としては審査していないことなど、当市議会の運営方法と異なる部分が多々あり、質問と情報交換をして参りました。

また特色ある事業として「エコチャレンジファミリ―認定事業」を行っておりました。これは平成15年度から節電の効果を実感できる無料貸し出しの各種機器を家庭に貸し出して省エネにチャレンジしてもらったもの。使用電力量や電気代が一目で見れる省エネナビや簡易電力計を貸し出し、チャレンジ修了者には認定証などが贈られます。これまでに400を超える家庭が参加され、省エネを実感



されているそうです。また、川越ブランド製品として紙製品をリサイクルさせた名刺やファイルを市民にも売り出しており、こちらも好評とのことでした。

当市とは都市形態が異なっているため、直ちに長所と思われる議会運営方法を、当市議会に導入することは困難であると思われるが、議会運営委員会の設置目的が、円滑な議会の運営を期するため、議会運営の万般について、協議し、意見調整を図る場とされることから、この度の視察は、今後の当市の議会運営に関し、種々参考となる事例が多くありました。

（委員長 大山利吉）

### 議会のついで

- 【7月】
  - 3日 企業誘致議員連盟先進地視察
  - 6日 建設水道常任委員会協議会
  - 10日 議会報編集委員会
  - 13～14日 議会運営委員会視察研修
  - 15日 長崎県長与町議会行政視察来庁
  - 22日 議会運営委員会
  - 28日 千葉県野田市議会行政視察来庁
  - 28日 福島県いわき市議会行政視察来庁
  - 29日 第4回臨時会・各常任委員会
  - 新潟県胎内市議会行政視察来庁
- 【8月】
  - 4日 新潟県上越市議会行政視察来庁
  - 5日 千葉県袖ヶ浦市議会行政視察来庁
  - 18日 議会運営委員会
  - 24日 会派代表者会議
  - 25日 第3回定例会（第1日目）
- 【9月】
  - 2日 第3回定例会（第2日目）
  - 議会運営委員会
  - 3日 観光推進議員連盟研修会
  - 3日 第3回定例会（第3日目）
  - 議会全員協議会
  - 出資法人等経営改革調査特別委員会
  - 4～7日 各常任委員会審査
  - 8日 議会運営委員会
  - 10日 議会運営委員会
  - 第3回定例会（最終日）
- 【10月】
  - 1日 議員全員協議会
  - 2日 会派代表者会議
  - 5日 会派代表者会議
  - 6日 第5回臨時会

## 提出された議案と審議結果

(このページにのみ適用 ■原案可決 ■同意 ■認定 ■承認 □継続審査)

## 【第4回 臨時会】7月29日(1日間)

- 平成21年度大仙市一般会計補正予算(第4号)

## 【第3回 定例会】8月25日~9月10日(17日間)

- 大仙市一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市協和林業者等休養施設設置条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市協和温泉供給条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市協和休養センター条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市公園条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市水道給水条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市営協和スキー場条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市民体育館条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市羽後長野合築駅舎交流施設条例の制定について
- 大仙市下水道条例及び大仙市下水道終末処理場施設設置条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市南外地域公共下水道事業受益者分担に関する条例の制定について
- 字の区域の変更について
- 損害賠償の額を定めることについて
- 損害賠償の額を定めることについて
- 損害賠償の額を定めることについて
- 市道の路線の認定及び廃止について
- 工事請負契約の締結について
- 平成20年度大仙市上水道事業剰余金の処分について
- 平成21年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計への繰入額の変更について
- 平成21年度大仙市一般会計補正予算(第5号)

- 平成21年度大仙市土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成21年度大仙市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)
- 平成21年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成21年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算(第2号)
- 平成21年度大仙市淀川財産区特別会計補正予算(第1号)
- 平成21年度大仙市上水道事業会計補正予算(第3号)
- 平成20年度市立大曲病院事業会計決算の認定について
- 平成20年度大仙市上水道事業会計決算の認定について
- 市道の路線の認定及び廃止について
- 平成21年度大仙市一般会計補正予算(第6号)
- 大仙市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について(議員提出議案)
- 平成21年度大仙市一般会計補正予算(第7号)

## 【第5回 臨時会】10月6日(1日間)

- 監査委員の選任について

## 陳情・意見書

## 【陳情】

- ◆消費税の引き上げに反対することについて  
提出者=秋田県労働組合総連合 議長 佐々木章【不採択】
- ◆保険で良い歯科医療の実現を求めることについて  
提出者=秋田県保険医協会 会長 三浦利治他1名【採 択】  
※継続審査となっております次の2件の陳情は9月末日の市議会議員の任期満了に伴い、審査未了となりました。
- 市道堰口2号線に関することについて  
提出者=寺村自治会 会長 佐藤隆造
- J R不採用問題の早期解決を求めることについて  
提出者=国鉄労働組合秋田地方本部執行委員長 瀬下一司

## 【意見書】

- 保険で良い歯科医療の実現を求める意見書  
※上記の意見書は、大仙市議会常任委員会の提案により議決し、内閣総理大臣をはじめ、各関係大臣等に要望しました。



編集委員長 菊地 幸悦 記

晩秋から初冬へと季節が移るうなか、初冠雪・初雪のたよりが届けられる時節となりました。政治・社会が大きな変革のなか、住民に最も身近な地方議会が担う使命とその責任の重さを感じているところです。

さて、市議会議員の任期満了による改選により、新たな市議会報編集委員による本号をお届けいたします。

市議会報編集にあたっては、見やすい、読みやすい、分かりやすい紙面構成で、議会活動をご理解いただけるよう、努力していきたいと思えます。

市民の皆様の貴重なご意見、ご要望をお寄せいただければ幸いです。

編集後記

